



厚生センター・保健所での  
**HIV 検査は無料・匿名**  
**自分の状態を確認してね**  
感染症発生動向速報

令和元年 5 月 29 日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

(令和元年第 21 週分・5 月 20 日～5 月 26 日)

《 インフォメーション 》

● HIV 検査普及週間

厚生労働省エイズ動向委員会によると、平成 30 年の 1 年間に、HIV 感染者は 921 人、エイズ患者は 367 人、合わせて 1,288 人が新たに報告されました（速報値、右図）。これは、**新規の感染者が、全国で毎日約 4 人ずつ報告されている**計算になります。富山県においても、毎年数人程度が報告されています。

エイズの原因ウイルスである HIV は、人の免疫細胞に感染します。エイズでは、免疫細胞が HIV に次々と破壊され減少し、体の抵抗力が無くなり、様々な病気にかかりやすくなります。HIV に感染しても、直ぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状の無い状態が数年続きます。そのため、この感染症は初診時の状態により、エイズ発症前に診断された「HIV 感染者」と、エイズ発症後に診断された「エイズ患者」に分類されます。また、既に HIV 感染者として報告されている症例がエイズを発症した場合（病変エイズ）は、報告の対象となりません。現在、エイズ患者の報告は、全体の約 3 割を占めており、**自分の HIV 感染に気が付いていない人が多数存在している**と考えられています。

厚生労働省は、6 月 1 日～7 日を「HIV 検査普及週間」と定め、HIV 検査の普及を図っています。この期間、県内の厚生センター・保健所では、通常の検査体制に加え、平日夜間や休日での検査を実施しています。エイズ発症前に検査で HIV 感染を知るとは、感染拡大防止や、早期治療開始のために重要です。この機会に検査で自分の状態を確認してみませんか？

《 全数報告の感染症 》

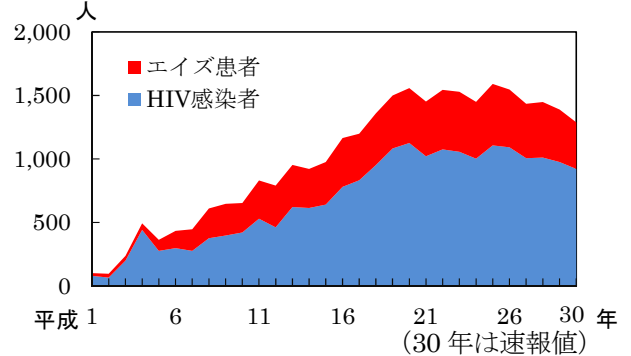
- 二類感染症 結核 11 件（①70 歳代、男性 ②80 歳代、男性 ①②共に第 19 週診断分  
③30 歳代、男性 ④60 歳代、男性 ⑤80 歳代、女性 ③～⑤全て第 20 週診断分  
⑥20 歳代、男性 ⑦～⑨全て 20 歳代、女性 ⑩40 歳代、男性 ⑪80 歳代、男性）
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件（70 歳代、女性、肺炎型）
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件（90 歳代、男性）  
侵襲性肺炎球菌感染症 2 件（①70 歳代、男性 ②70 歳代、女性）  
水痘（入院例） 2 件（①30 歳代、男性 ②40 歳代、女性）  
百日咳 8 件（①～④全て 10 歳未満、男性 ⑤⑥共に 10 歳未満、女性  
⑦20 歳代、女性 ⑧40 歳代、女性）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1 位	感染性胃腸炎	9.31（↓）	9.48
2 位	伝染性紅斑	2.03（↓）	3.31
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93（↓）	2.76
4 位	咽頭結膜熱	1.00（↑）	0.66
5 位	水痘	0.69（↑）	0.66
6 位	流行性角結膜炎	0.43（→）	0.43

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数の推移（全国）



○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第21週 令和元年5月20日～令和元年5月26日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	1			5		6	7	3	17	20	23	70	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	3		4	8	
四類感染症	E型肝炎							2					2	
	A型肝炎							1					1	
	レジオネラ症			1			1			6	3	8	17	
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1			1			2	1		3	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	1	1	4	
	後天性免疫不全症候群											3	3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2		3	
	侵襲性肺炎球菌感染症			1	1		2			7	8	8	23	
	水痘（入院例）	1				1	2	1					4	5
	梅毒									2	1	9	12	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	百日咳				3	5	8			4		4	18	26
	風しん									1			2	3
	麻しん										1	2		3
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	1 0.14	1 0.20	4 0.31	2 0.29	6 0.38	14 0.29	1,425	911	3,116	1,689	3,610	10,751
RSウイルス感染症				3 0.38	3 0.75	4 0.40	10 0.34	11	19	50	8	68	156	
咽頭結膜熱		4 1.00	2 0.67	9 1.13	2 0.50	12 1.20	29 1.00	95	16	175	24	108	418	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2 0.50	4 1.33	20 2.50	6 1.50	24 2.40	56 1.93	76	87	390	168	694	1,415	
感染性胃腸炎		32 8.00	29 9.67	57 7.13	27 6.75	125 12.50	270 9.31	655	479	797	357	1,951	4,239	
水痘				3 0.38		17 1.70	20 0.69	15	11	31	11	165	233	
手足口病				2 0.25		2 0.20	4 0.14	15	10	13	3	79	120	
伝染性紅斑		8 2.00	3 1.00	20 2.50	1 0.25	27 2.70	59 2.03	60	18	302	72	198	650	
突発性発しん		1 0.25	1 0.33	3 0.38	2 0.50	1 0.10	8 0.28	17	23	78	21	73	212	
ヘルパンギーナ		4 1.00		1 0.13			5 0.17	58	2	4	2		66	
流行性耳下腺炎						1 0.10	1 0.03	1	3	5	1	16	26	
急性出血性結膜炎											10		10	
流行性角結膜炎					3 3.00		3 0.43	1	4	22	21	3	51	
細菌性髄膜炎												3	3	
無菌性髄膜炎								1					1	
マイコプラズマ肺炎									2	1			3	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						1 1.00	1 0.20	1		8	6	1	16	
インフルエンザによる入院患者（*）						1	1	41	42	52	96	98	329	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週（9月3日）～の集計です。